

【11. 選択領域(6時間):現代社会の諸課題を考えるⅡ】

講習内容 今日的生活を取り巻く環境は、様々な矛盾を抱えており、これからの時代を生きる子どもたちも、そうした社会と自らの生活のあり方について、トータルに理解する力を身につける必要に迫られています。本講習では、「社会学」「歴史学」「栄養・食品学」等のテーマを取り上げ、今、生徒たちに伝えておかなければならないことの基本的理解を目指します。「現代社会の諸課題を考えるⅠ」と併せて受講することが望ましいです。

講座	講座テーマ	内 容			受講対象	時間	担当者
		講座概要	到達目標	キーワード			
⑪-1	現代の若年層の人間関係・コミュニケーションを考える	人は他者との関係やコミュニケーションなしに生きることはいかなる場合でもできない。しかし近年、人間関係やコミュニケーションに困難を感じたり、深く悩んだりする人々も少なくないと思われる。 この講義では、担当者の専門領域である社会学の立場から、特に若年層が直面しがちな人間関係やコミュニケーションに関する困難について考察する。そしてそれをふまえて、若年層をサポートする立場にある大人は、どのようなスタンスをとるべきかという点について検討する。	現代の若年層は、人間関係やコミュニケーションに関してなぜ、そしてどのような困難や悩みに直面しているのかを理解する。さらにそれを通して、若年層をサポートする立場にある者が留意すべき点を把握する。	・「つながり」を煽る社会 ・「腫れ物」化する人間関係 ・若年層の自己感覚	中・高等学校教諭(社会、商業、情報)	1.5	櫻井 龍彦
⑪-2	多文化主義とナショナリズムは共存できるのか:英国のスコットランド独立問題に学ぶ	EU離脱を決めた英国は、長年にわたる国内の地域問題も抱えている。そのひとつがスコットランド独立問題である。現代のスコットランドにおいて、独立という強烈な国民意識と外国人移民に対する意識が、どのような共存関係にあるのか。現代の日本を考える材料として提示したい。事前学習は必要としない。	1) 海外における地域問題の背景と概要を理解し、具体的に説明できるようになる 2) ナショナリズムと多文化主義の問題にどのように教育現場で取り組むべきか、構想できるようになる	多文化主義、異文化理解、ナショナリズム、歴史学、社会学、文化研究	中・高等学校教諭(社会、商業、情報)	1.5	加藤 昌弘
⑪-3	健全な食生活の構築	昨今、食品の新たな機能として多くの食品の生理機能が明らかになり、機能を使って健康を維持しようとする期待が非常に大きい。また、これら情報はマスコミなどを通じて氾濫している。現在分かっている知見で、どの程度健康に貢献するのかを考察する。また、サプリメントの常用は果たして健康に良い影響を与えるのかについても考える。	具体的なデータなども活用して、それぞれのデータの適切な理解の方法について考え方を理解する。	食品の第三次機能 食生活	中・高等学校教諭(社会、商業、情報)	3	小原 章裕